radio Camnetに続くマガジン版

雲心月性

大槻ワールドへようこそ

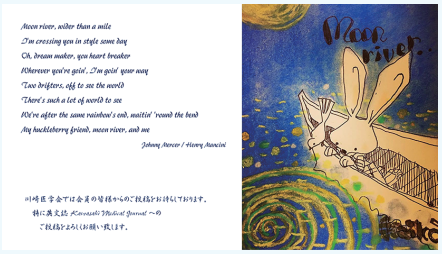
Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

さて、大槻は川崎医科大学の中にある学内の学会である川崎医学会の運営委員長を務めています。教員や教授の先生にエリアに入るところには、メールボックスがあって、そこにデジタルサイネージが設えてあります。

いろんな情報を掲示するのですが、医学会として発刊している機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。友人の Ms. Keiko C の描いたイラストを使わせてもらったり、自分で撮った写真を使ったりしています。

では、2018 年の 9 月と 10 月のスライドを紹介します。

9 月の空…去年は西日本豪雨の後、祈りを込めて季節の移ろいを感じていました。まだまだ復興へ願いを込めたいです。



9 月の月…少しだけひんやりしてきて、でも、水面に浮かび月に小石を投げてみれば、幾重もの月の輪が拡がります。

塩辛蜻蛉は、そろそろ羽根を休める頃でしょうか？　やっぱり大きな眼鏡ですよね（童謡にあるように）。

ハンコを作ってみました。可愛い CAT ！

ハートのマークも秋の出逢いを予言している？

夕焼け空にも祈りを込めて。少しずつ早くなる日暮れに、なんだかセンチメンタル！

コスモスの花言葉は【harmony（調和）、peace（平和）、modesty（謙虚）、the joys that love and life can bring（愛や人生がもたらす喜び）そして beautiful（美しい）】～秋です。

♫落葉の舞い散る停車場は～♫　　哀しい女がやってくるのでしょう？　メロディーも哀愁の秋です。

ハロウィンは、パンプキンパイで子どもたちと祝いましょう。お祭り騒ぎは抜きにして。

読書の秋ともいいますが、確かに長い夜には、一遍の小説を。愛する意味を教えられるのかも？

さて、オリジナル曲の秋の歌。iTunes ではリリースしていませんが……。

『寂しさにがんじがらめ』

思い出が　胸に　多過ぎて
話す言葉も　途切れがち
枯葉を濡らして　降る雨に
あぁ　涙ぐむ　あなた
何気なく　絡む　まなざしも
夏の輝き　忘れてる
硝子の雨粒　指先で
あぁ　辿ってる　あなた
　　秋は　わけもなく　寂しさに
　　がんじがらめの　二人なら
　　もっと　肌と肌を　寄せ合って
　　しあわせな秋を　あなたと

好きだよと　そっと　ささやけば
甘くほほえみ　返すけど
雨傘ひとつで　歩く路
あぁ　すれ違う　心
濡れた肩　強く　抱きしめて
髪の匂いに　おどる胸
震える背中の　幸せは
あぁ　逃げ出しは　しない
　　秋は　わけもなく　寂しさに
　　がんじがらめの　二人なら
　　もっと　肌と肌を　寄せ合って
　　しあわせな秋を　あなたと
--*-*-*-*-*-*-*-*-*-

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

皆様にとってステキな季節が過ぎていきますように。

プロフィール

大槻　剛巳
（おおつき たけみ）

川崎医科大学衛生学教授
0歳：京都府福知山市にて生誕
14歳：京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位
14歳：KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用
15歳：倉敷市に転居
15＆18歳：NHKあなたのメロディー出演
18歳：YAMAHAポプコン全国大会（譜面の部）出場
20歳：YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり
24歳：川崎医科大学卒業
以降：川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事
1992-1996年：米国留学（医学研究）
1996年：岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載
2009年：Camnet CH-F（10-19）パーソナリティ担当
現在に至る